

## 点検・評価の結果

政府統計コード	00500215
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査
調査の名称	作物統計調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(現状把握や関係施策立案の参考資料等として活用)
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<div><div><div><div><input checked="" type="checkbox"/> 1.調査の目的</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 2.調査対象の範囲 ※</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 3.報告者数等※<div><div>報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等</div></div></div><div><input checked="" type="checkbox"/> 4.報告事項とその基準期日 ※<div><div>報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</div></div></div><div><input checked="" type="checkbox"/> 5.報告の方法 ※<div><div>報告を求めるために用いる方法</div></div></div><div><input type="checkbox"/> 6.報告を求める期間 ※</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 7.集計事項 ※</div><div><input type="checkbox"/> 8.結果の公表方法及び期日 ※<div><div>調査結果の公表の方法及び期日</div></div></div><div><input checked="" type="checkbox"/> 9.使用する統計基準</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 10.調査票情報の保存<div><div>調査票情報の保存期間及び保存責任者</div></div></div><div><input checked="" type="checkbox"/> 11.立入検査<div><div>基幹統計調査のみ</div></div></div></div></div><div>一部不整合あり</div></div>
-----------------------------	---

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
6. 報告を求める期間※	<div><div><div><input type="radio"/> 調査実施期間(始期・終期) 調査の周期</div><div>調査票の提出期限 その他</div></div></div>		<div><div><input type="radio"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し</div><div>その他</div></div>	対応済	調査計画の「調査の実施期間又は調査票の提出期限」について、調査実態を踏まえたものとなるよう記載を見直し、調査計画を変更（令和6年3月承認）。
	特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 調査計画において、耕地面積調査及び水稲作付面積調査の「調査の実施期間」を「7月上旬～7月下旬」としているが、現地に赴いて実測調査として行う性格上、地域によっては天候等の状況に合わせて、6月中旬頃から調査を実施していた（調査時期が梅雨や高温時期と重なることから、統計調査員等が降雨、炎天下等の状況を避けて、安全・確実に調査を行えるよう配慮するため。）。				
8. 調査結果の公表の方法及び期日※	<div><div><div><input type="radio"/> 公表実施時期 e-Statの掲載 その他</div><div>公表媒体 閲覧表</div></div></div>		<div><div><input type="radio"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し</div><div>その他</div></div>	対応済	調査計画の「公表予定時期」について、過去の公表実績を踏まえ現実的な公表予定時期に変更し、調査計画を変更（令和6年3月承認）。
	特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 水稲作付面積調査及び水稲予想収穫量調査（9月25日現在調査）については、調査計画では10月上旬公表予定としているが、数値の精査に時間を要したため、10月中旬に公表を延期（なお、公表日の変更及び新たな公表日を農林水産省ホームページに記載）				

## ② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<input type="checkbox"/> 課題なし  <input checked="" type="checkbox"/> 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）  <input type="checkbox"/> その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	---

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	効率的な手法の導入及び調査結果の精度の維持・向上を図るため、「陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、果樹、茶、なたね、さとうきび、花き、野菜」に係る統計作成手法の総体的な改善に向けて検討する。また、母集団情報・標本設計、効率的な作付面積の把握手法、調査範囲、その他の効率化（調査票の発送業務の一元化等）等について検討を行い、調査計画の所要の見直しを行う。	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定
記入欄 No. 2	令和6年度に実施した統計作成プロセス診断の助言を踏まえ、必要な改善を行う。	<input type="radio"/> 調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 <input type="radio"/> プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	<input type="radio"/> 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し <input type="radio"/> その他	対応中/対応予定

### ③ 必要な精度の確保・向上の観点

1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)			「精度の確保・向 上等」に関する重 点的な検証の有無
	精度管理の目安と している指標区分 ※該当するものを 選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)	
	○ 達成精度	別紙 1 参照	別紙 1 参照	別紙 2 参照	別紙 2 参照	別紙 2 参照	重点的な検証なし  別紙なし
	○ 回収率・回答率						
	○ 回収調査票数						
	○ カバレッジ						
	○ その他						
○ 設定なし(麦類、 大豆、なたね、て んさい、さとうき び)							

## 目安としている指標の具体的推移

## 耕地及び水稲作付面積調査

		目標精度	目安としている設定時期	令和４年調査	令和３年調査	令和２年調査	備考
田耕地面積	実績精度	耕地の田畑別面積又は水稲作付面積を指標とした全国の目標精度（田：0.16％、畑：0.50％、水稲：0.22％）が確保されるように設定した都道府県別の目標精度（田：おおむね0.5～2％程度、畑：おおむね1～5％程度、水稲：おおむね0.5～3％程度）設定	平成８年	0.12%	0.13%	0.11%	
畑耕地面積	実績精度			0.25%	0.29%	0.25%	
水稲作付面積	実績精度			0.35%	0.34%	0.34%	

## 収穫量調査（水稲）

		目標精度	目安としている設定時期	令和４年調査	令和３年調査	令和２年調査	備考
水稲	実績精度	全国収穫量の目標精度（0.3％）が確保されるよう、都道府県別の10a当たり玄米重の目標精度（1～2％）を設定。	平成８年	0.16%	0.16%	0.16%	

## 収穫量調査

農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10a当たり収量を指標とした全国の目標精度（1～3％が確保されるよう、調査対象作物の全国収収量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（3～20％）を設定し、標本調査を設計。

		目標精度	目安としている設定時期	令和４年産調査	令和３年産調査	令和２年産調査	備考
陸稲	実績精度	農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10a当たり収量を指標とした全国の目標精度（1～3％が確保されるよう、調査対象作物の全国収収量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（3～20％）を設定し、標本調査を設計。	令和３年産調査から2020年農林業センサス結果を母集団として、左記の標本設計を実施。（令和２年産調査は2015年農林業センサス結果を母集団とした）	4.7%	4.5%	2.8%	
麦類	回答率	主要な都道府県において、標本経営体調査を行っていないこと等から、実績精度の算出は行っていない。関係団体への全数調査の回答率（実績）は右記のとおり。	目安とする指標は設定していない。	95.0%	94.5%	94.5%	主要な都道府県において標本経営体調査を行っていないこと等から算出を行っていない。
大豆	回答率			96.8%	96.0%	96.4%	主要な都道府県において標本経営体調査を行っていないこと等から算出を行っていない。
そば	実績精度	農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10a当たり収量を指標とした全国の目標精度（1～3％が確保されるよう、調査対象作物の全国収収量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（3～20％）を設定し、標本調査を設計。	令和３年産調査から2020年農林業センサス結果を母集団として、左記の標本設計を実施。（令和２年産調査は2015年農林業センサス結果を母集団とした）	1.0%	1.3%	1.7%	
かんしょ	実績精度			2.3%	1.6%	1.6%	
牧草	実績精度			1.5%	2.1%	5.3%	
青刈りとうもろこし	実績精度			1.9%	1.9%	3.2%	
ソルゴー	実績精度			3.7%	3.7%	3.9%	
茶	実績精度	都道府県別の調査対象数は、全数調査階層の荒茶工場数と標本調査階層の荒茶工場数を足したものとし、荒茶生産量を指標とした全国の目標精度（2～3％）が確保されるよう、都道府県別の目標精度（5％）を設定し、標本調査階層の調査対象数を算出した。	令和３年産調査から令和２年産調査結果（全国調査）を基に「荒茶工場母集団一覧表」を整備・補正し、左記の標本設計を実施。（令和２年産調査は平成26年産調査結果（全国調査）を母集団とした）	4.7%	2.6%	3.6%	
なたね	回答率	主要な都道府県において、標本経営体調査を行っていないこと等から、実績精度の算出は行っていない。関係団体への全数調査の回答率（実績）は右記のとおり。	令和３年産調査から2020年農林業センサス結果を母集団として、左記の標本設計を実施。（令和２年産調査は2015年農林業センサス結果を母集団とした）	89.5%	90.2%	83.6%	主要な都道府県において標本経営体調査を行っていないこと等から算出を行っていない。
てんさい	回答率			100.0%	100.0%	100.0%	関係団体調査のみ実施していることから実績精度の算出は行っていない。
さとうきび	回答率		目安とする指標は設定していない。	65.1%	79.1%	74.7%	関係団体調査のみ実施していることから実績精度の算出は行っていない。

花き		実績精度	農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、調査対象類ごとに1a当たり出荷量を指標とした全国の目標精度（2～3％）が確保されるよう、調査対象作物の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（5％～20％）を設定し、標本調査を設計。	令和3年産調査から2020年農林業センサス結果を母集団として、左記の標本設計を実施。 （令和2年産調査は2015年農林業センサス結果を母集団とした）	切り花類 1.3% 鉢ものの類 3.5% 花壇用苗ものの類 2.7% 球根類については、主要な都道府県において標本経営体調査を行っていないこと等から、実績精度の算出は行っていない。	切り花類 1.5% 鉢ものの類 5.0% 花壇用苗ものの類 2.5% 球根類については、主要な都道府県において標本経営体調査を行っていないこと等から、実績精度の算出は行っていない。	切り花類 1.4% 球根類 7.3% 鉢ものの類 5.5% 花壇用苗ものの類 3.2%	
果樹	みかん	実績精度	農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10a当たり収量を指標とした全国の目標精度（みかん及びびりんごは1～2％、みかん、りんご以外の品目については2～3％）が確保されるよう、調査対象作物の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（3～20％）を設定し、標本調査を設計。		1.3%	1.2%	1.4%	
	りんご	実績精度			1.0%	1.7%	1.5%	
	日本なし	実績精度			0.8%	0.9%	1.0%	
	西洋なし	実績精度			3.0%	3.9%	2.0%	
	かき	実績精度			1.1%	1.0%	1.1%	
	びわ	実績精度			2.4%	2.6%	4.2%	
	もも	実績精度			1.9%	1.6%	1.9%	
	すもも	実績精度			2.7%	2.3%	2.4%	
	おうとう	実績精度			2.5%	3.0%	2.1%	
	うめ	実績精度			2.1%	2.1%	1.5%	
	ぶどう	実績精度			1.8%	2.2%	1.4%	
	くり	実績精度			1.8%	2.1%	2.3%	
	キウイフルーツ	実績精度			2.0%	1.9%	1.5%	
	パイナップル	実績精度			5.4%	9.2%	5.2%	

作付面積調査

		目標精度	目安としている設定時期	令和4年産調査	令和3年産調査	令和2年産調査	備考
陸稲	回答率	全数調査のため、目安とする指標は設定していないが、回答率（実績）は右記のとおり。	目安とする指標は設定していない。	100.0%	94.4%	100.0%	
麦類	回答率			99.8%	100.0%	98.9%	
大豆	回答率			98.9%	99.2%	98.4%	
そば	回答率			100.0%	99.5%	99.2%	
かんしょ	回答率			98.6%	98.6%	99.4%	
飼料作物	回答率			99.3%	94.4%	99.1%	
果樹	回答率			99.3%	98.5%	98.7%	
茶	回答率			100.0%	100.0%	97.8%	
なたね	回答率			100.0%	100.0%	98.5%	
てんさい	回答率			100.0%	100.0%	100.0%	
さとうきび	回答率			65.1%	79.1%	74.7%	

指定野菜（秋冬野菜等）、指定野菜に準ずる野菜

回答率（作付面積調査）

令和 4 年産	95.3
令和 3 年産	95.0
令和 2 年産	94.8

実績精度一覧（収穫量調査）

区分	品目	季節区分	目標精度	目安としている設定時期	実績精度		
					令和 4 年産	令和 3 年産	令和 2 年産
指定野菜	だいこん	秋冬	農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が 8 割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10 a 当たり収量を指標とした全国の目標精度（1 %～2 %）が確保されるよう、調査対象作物の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（3 %～15%）を設定し、標本調査を設計。	令和 3 年産調査から 2020 年農林業センサス結果を母集団として、左記の標本設計を実施。（令和 2 年産調査は 2015 年農林業センサス結果を母集団とした）	1.3	1.4	1.5
	にんじん	冬			1.3	1.5	1.5
	ばれいしょ	秋植え			3.2	7.0	5.2
	さといも	秋冬			1.6	1.7	1.8
	はくさい	秋冬			1.0	1.2	1.2
	キャベツ	冬			1.0	0.9	0.8
	レタス	冬			0.9	1.3	1.0
	ねぎ	秋冬			1.2	1.1	1.0
	ほうれんそう	－			1.2	1.4	1.2
指定野菜に準ずる野菜	かぶ	－	農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が 8 割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10 a 当たり収量を指標とした全国の目標精度（2 %～3 %）が確保されるよう、調査対象作物の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（5 %～20%）を設定し、標本調査を設計。		2.5	1.8	4.2
	ごぼう	－			2.6	1.5	2.6
	れんこん	－			3.5	4.4	0.8
	やまのいも	－			2.1	1.8	3.0
	こまつな	－			1.1	1.1	2.0
	ちんげんさい	－			3.0	1.7	1.2
	ふき	－			1.4	1.9	3.5
	みつば	－			1.2	－	－
	しゅんぎく	－			2.0	3.0	2.2
	みずな	－			11.3	2.7	2.5
	セルリー	－			0.5	－	－
	アスパラガス	－			1.8	1.4	2.1
	カリフラワー	－			2.1	2.2	2.1
	ブロッコリー	－			1.0	0.5	0.6
	にら	－			4.3	1.3	1.3
	にんにく	－			1.9	1.1	0.9
	かぼちゃ	－			1.8	1.9	3.7
	スイートコーン	－			1.6	0.9	1.1
	さやいんげん	－			3.5	2.9	3.9
	さやえんどう	－			4.8	5.1	7.6
	グリーンピース	－			5.1	3.8	7.5
	そらまめ	－			4.5	5.9	3.9
	えだまめ	－			2.2	1.2	1.8
	しょうが	－			3.6	2.4	2.5
	いちご	－			1.3	1.6	2.0
	メロン	－			2.3	4.8	2.0
	すいか	－			2.1	0.9	1.8

春野菜、夏秋野菜等

回答率（作付面積調査）

令和４年産	92.0
令和３年産	92.4
令和２年産	92.0

実績精度一覧（収穫量調査）

類別	品目	季節区分	目標精度	目安としている設定時期	実績精度		
					令和4年産	令和３年産	令和２年産
根 菜 類	だいこん  にんじん	春	農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10a当たり収量を指標とした全国の目標精度（1％～2％）が確保されるよう、調査対象作物の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（3％～15％）を設定し、標本調査を設定。	令和３年産調査から2020年農林業センサス結果を母集団として、左記の標本設計を実施。（令和２年産調査は2015年農林業センサス結果を母集団とした）	1.6	1.6	1.7
		夏			2.0	1.9	1.5
		春夏			1.0	1.0	1.0
		秋			2.4	1.6	2.3
葉 茎 菜 類	はくさい  キャベツ  レタス  ねぎ  たまねぎ	春夏			1.9	1.6	2.2
		春			1.0	0.7	1.1
		夏			1.0	1.0	0.9
		夏秋			0.7	0.5	0.6
		春			1.2	1.1	1.1
		夏秋			0.4	－	0.6
		春			1.5	1.9	1.9
		夏			2.2	1.6	1.6
		－			2.4	－	1.4
果 菜 類	きゅうり  なす  トマト  ピーマン	冬春			1.3	1.4	1.8
		夏秋			1.3	1.3	1.2
		冬春			2.1	1.2	1.9
		夏秋			2.2	1.9	1.6
		冬春			1.0	1.0	1.0
		夏秋			1.7	1.6	1.1
		冬春			1.7	2.1	1.5
		夏秋			2.1	2.2	2.0

※実績精度が「－」については、主要な都道府県において標本経営体調査を行っていないこと等から、算出を行っていない。

春植えばれいしょ

回答率（作付面積調査）

令和４年産	61.5
令和３年産	89.3
令和２年産	81.8

実績精度一覧（収穫量調査）

令和４年産	0.5
令和３年産	0.4
令和２年産	0.2